



川村 陽琉ちゃん（樋上）
父・浩史さん 母・智子さん
平成22年7月28日生まれ
「沢山の幸せをありがとう♡」



小野 凱亜ちゃん（下忍）
父・達也さん 母・真理さん
平成22年7月11日生まれ
「騎士凱ちゃん三姉妹すくすく育ってね♡」



栗原 佑介ちゃん（須加）
父・正幸さん 母・友子さん
平成22年7月22日生まれ
「明るく元気に育ってね♡」

はじ め ま し て



大澤 奈々ちゃん（持田）
父・孝行さん 母・朋美さん
平成22年7月5日生まれ
「いつも笑顔をありがとう♡」



山田 蓮大ちゃん（長野）
父・寛大さん 母・明子さん
平成22年7月24日生まれ
「将来が楽しみな我が子です☆」

平成22年9月生まれのお子さんを募集します

○7月29日(金)までに電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。



○応募者多数の場合は、8月4日(木)午後1時30分から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

白ゆり民踊会

あで 艶やかに舞う

「よろしくお願いたします」という元気なあいさつから始まる練習は、礼節を重んじる現代日本舞踊内海流の師範内海翔美陽（野口由美子）さんの方針です。扇や手ぬぐい、蛇の目傘などの道具を使い、歌に合わせた踊りでさまざまな世界観を表現する内海流は、振り付けが艶やかで美しいと評判。おそろいの着物を身に付けた皆さんは、曲が流れると指の先まで神経を集中させ、一つ一つの振りを丁寧に踊ります。手足だけでなく視線まで気を配り、体全体を使い歌の世界に浸って踊るさまは、息をつくのも忘れず。しかし、ひとたび休憩となると、

「元気がないさつから始まる練習は、礼節を重んじる現代日本舞踊内海流の師範内海翔美陽（野口由美子）さんの方針です。扇や手ぬぐい、蛇の目傘などの道具を使い、歌に合わせた踊りでさまざまな世界観を表現する内海流は、振り付けが艶やかで美しいと評判。おそろいの着物を身に付けた皆さんは、曲が流れると指の先まで神経を集中させ、一つ一つの振りを丁寧に踊ります。手足だけでなく視線まで気を配り、体全体を使い歌の世界に浸って踊るさまは、息をつくのも忘れず。しかし、ひとたび休憩となると、



「立てば芍薬座れば牡丹歩く姿は百合の花」という言葉があります。今月紹介するのは、そんな言葉がびっぴりたる和服姿が美



お茶を片手におしゃべりに花を咲かせるなど、めりはりのある時間を過ごしています。現在は、9月に産業文化会館で開催される「さくらまつりチャリティショー」での発表に向けて、メンバー同士で指摘し合いながら、気持ちを一つに踊りに磨きをかけているそうです。
「年齢や性別を問わず、気軽に踊ってほしい」と語るメンバーの皆さん。「体だけでなく、振りを覚えるため、脳の健康にもつながる」「おしゃべりをして舞台に立つことができる」とうれしそうなお話を浮かべます。風に揺れる百合の花のように、しなやかに舞う同会の皆さんと共に、歌と踊りの世界に足を踏み入れてみませんか。
▼問い合わせ 樋口宅 ☎55610040